

【ピオグリタゾン錠 15mg 「ケミファ」】
溶出試験に関する資料

日本ケミファ株式会社

● 目的

ピオグリタゾン錠 15mg「ケミファ」と標準製剤の溶出挙動の同等性を検討するため、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」に従い溶出試験を実施した。

● 使用製剤

試験製剤：ピオグリタゾン錠 15mg「ケミファ」

標準製剤：アクトス錠 15（武田薬品工業株式会社）

● 試験条件

溶出試験法：パドル法

試験液：50rpm pH1.2、pH3.0、pH6.8、水

100rpm pH1.2

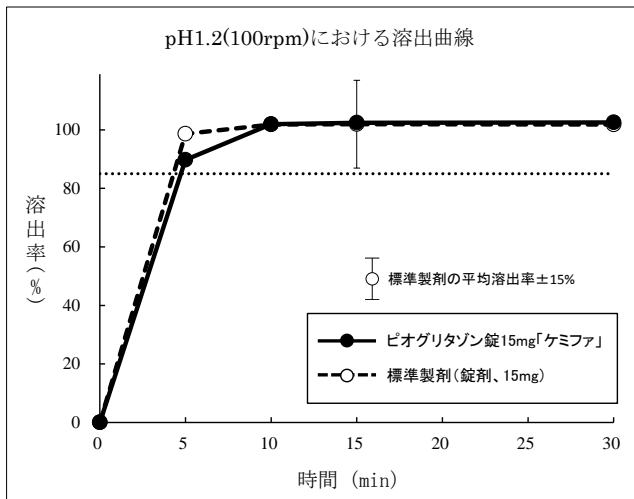
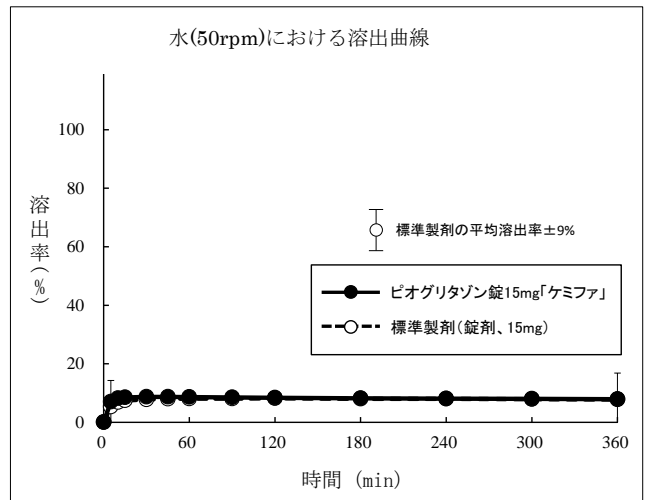
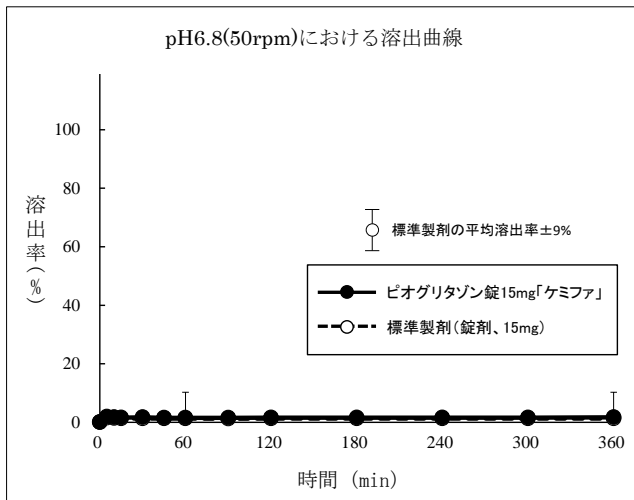
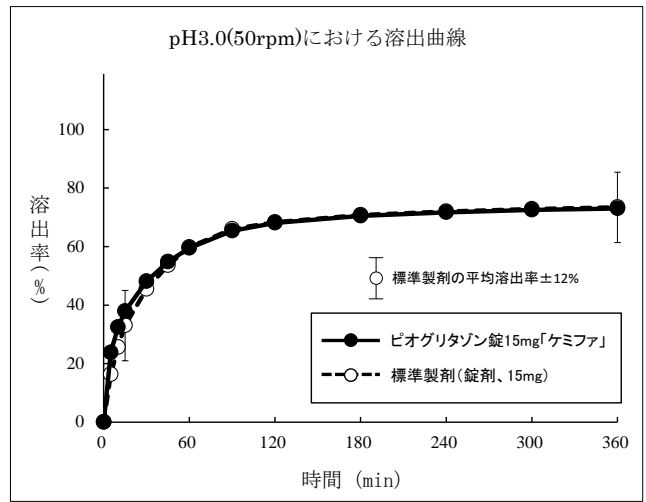
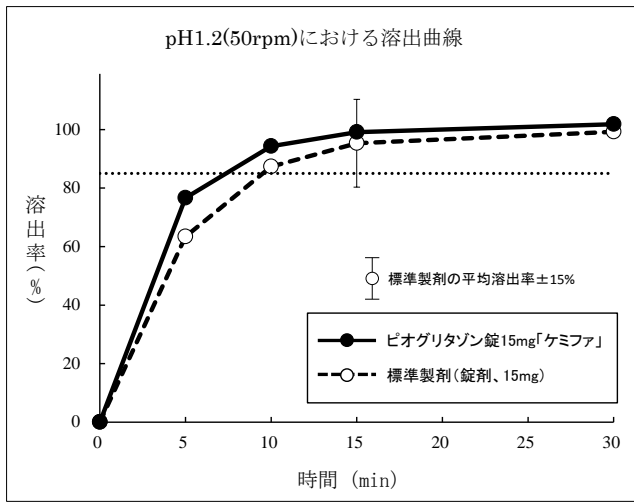
検体数：各製剤ともに12ベッセル

判定基準：

標準製剤溶出パターン	判定基準
標準製剤が15分以内に平均85%以上溶出する場合	試験製剤は15分以内に平均85%以上溶出するか、又は15分における試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。
標準製剤の平均溶出率が50%以上85%に達しないとき	標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±12%の範囲にある。
標準製剤の平均溶出率が50%に達しないとき	標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にある。

● 結果

回転数 (rpm)	試験液	判定時間 (分)	試験製剤 (%)	標準製剤 (%)	判定
50	pH1.2	15	99.1	95.3	適合
		pH3.0	15	37.9	33.0
	360		73.0	73.4	適合
	pH6.8	60	1.5	1.3	適合
		360	1.7	1.3	適合
	水	5	7.0	5.3	適合
360		7.9	7.8	適合	
100	pH1.2	15	102.4	101.9	適合



● 結論

ピオグリタゾン錠 15mg 「ケミファ」と標準製剤は、溶出挙動の類似性が確認された。